

柳営日記記

寛文七丁未年

七月

朔日 霪雨

御礼無之

御刀 三枝摂津守

水戸宰相殿

右昨日以上使御暇被 仰出候付登 城於 御座之間

御對顔則御鷹三鷹捉 鷹捉 鷹捉被遣之

時服五十

被下之

右今朝御暇右被下為御礼登 城拜謁則御馬一疋拝領之

次御暇之面々

右御暇御礼

時服六

羽織

同五

同四

時服五

銀五十枚

時服四

時服三

羽折

右被下之

今日以上使御鷹之雲雀三十ッ 拝領之面々

奥御使番

松平新太郎

松平大隅守

松平相模守

松平安藝守

藤堂大学頭

松平龜千代

松平讚岐守

井伊掃部頭

松平大膳大夫

御身固被献之

銀五枚

被下之

奥 申刻二丸 御成

二日

欠

從御臺様夜衣及塩鶴被遣之

三日

奥

御

今日西丸

渡御

一 女院御所が七夕之御祝儀被進之

一 館林殿之鷹之雲雀被献之

一 保科肥後守登 城 御目見

一 西丸 御成山里 御馬被為 召御番衆も乗馬被

仰付之

仙石因幡守組

大沢五郎右衛門

戸田金五郎

榊原源右衛門

川井源三郎

朽木市左衛門

梶川与惣兵衛

水野藤太郎

堀三三郎

蜂屋七之助

奥山甚兵衛

三井十郎兵衛

松平八郎右衛門

中山勘右衛門

榊原七郎右衛門

山岡忠右衛門

松平内記組

板橋与五左衛門

森 内記

土御門 使者

御使給木志之助

水戸宰相殿

御座番之頭

京都より掃部

大久保出羽守

四日

於評定所式日之寄合有之大和守出座

安中城堀田備中守へ引渡

掃部

荒木十左衛門

堀 三左衛門

松平播磨守

松平左京大夫

松平出雲守

松平刑部大夫

松平摂津守

松平但馬守

宗 對馬守

伊達遠江守

蜂須賀千松

有馬玄蕃頭

松平大和守

松平飛騨守

毛利甲斐守

松平兵部大夫

松平右京大夫

立花紅雪

松平安藝守内儀

佐竹右京大夫

鍋島左衛門

松平新太郎

黒田万千代

今日御旗本諸士跡式被 仰付面々

兩典殿御簾中紀伊宰相御簾中へ雲雀三十ッ被遣之

五日

以上使御鷹之雲雀三十宛被下之

松平右京大夫

立花紅雪

松平安藝守内儀

佐竹右京大夫

鍋島左衛門

松平新太郎

黒田万千代

各御暇
被下之

一 御鷹之雲雀二十宛以上使(御使番)拜領之面々

知久伊左衛門
座光寺喜兵衛
小笠原孫右衛門
本多中務大輔
松平主殿頭
高力左近大夫
松平市正
本多飛騨守
諏訪因幡守
鳥居兵部少輔
土岐山城守
本多兵部少輔
小笠原土佐守
丹羽式部少輔
長坂新右衛門

女院御所御使
上使板倉内膳正
毘沙門堂門跡
思門供人坊官
安田治部卿
今小路式部卿
小田助之丞

御暇銀五枚

十日
銀二百枚 京都へ
時服十
各白銀
十枚ツ

十一日

銀三百枚 御暇御馬被下之
時服三十
上使土屋世馬守
松平對馬守
御對顏畢
御暇之
御刀
内藤上野介
松平對馬守

右登

城於 御前御馬一疋拜領之次
時服三 父在所へ 御暇
美作守二男
松平鞆負
松平土佐守 御目見松平美作守御暇之御札
縹子三十卷 堀川越中守使者
一荷二種 溝口藏人
病後之 歸國御札
箱看 御礼
安中御目付
御目付

荒木十左衛門
堀 三左衛門

一 御鷹之雲雀三十宛

同二十宛

各於 御前拜領之
今日未后刻西丸 渡御
與於山里御乘馬御側之面々へも乘馬被
仰付之

十二日
黄金式枚
一種一荷ツ

右御生見玉之為御祝儀被献之
初鮭被献之
御鷹之雲雀
二十被下之
縹子三十卷
一種一荷
式日美濃守内膳正出座

十三日

箱帷子 御單物
三ツツ 明石箱
京箱
同式ツツ ぼた織
明石箱

毘門供人
坊官三人
名前如前

雅 楽 頭
豐 後 守
美 濃 守
大 和 守
但 馬 守
内 膳 正

御両典廐ヨリ

水戸宰相殿
松平美作守
細川越中守

雅 楽 頭
豐 後 守
執事四人
美濃守
大和守
但馬守
内膳正

細川越中守使者
溝口藏人

十五日

孟蘭盆 御名代増上寺稻葉美濃守
方丈へ式百枚時ふく十
役者薰園村貞へ銀十枚時ふく式ツ被下

東叡山御堂 宝樹院殿 御名代久世大和守可被遣之

時服二十
同 十
同 三ツ
日 門
毘 門
凌 雲 院
且 那 院
圓 覺 院
住 心 院
寒 松 院
東 漸 院
常 德 院

同式ツツ被遣之

十六日

右^ハ奥州^江御馬買被遣之
御徒目付
野村伊大夫
本間仁右衛門

右奥州白川迄海道高札建直シ為御用被遣之
新庄与惣右衛門事駿府御目付可被遣旨
西后刻舞被 仰付和田宴小八郎 五郎右衛門 三右衛門

十七日
紅葉山御宮 御名代美濃守參詣
千本兵左衛門

右日光御目付^ニ被 仰付之

十八日

松平龜千代
南部大膳大夫

右初鮭献上則 禁裏^江御進献之

永井伊賀守宅へ今朝若年之医師廿四人招之

無記事

十四日
右於 御前被下之
時服三羽折
御暇

被 仰出之趣 申渡

家業之儀御采目^ニ被 仰出候通常々情出学問療治可仕之
已来不精成者於有之 被成御僉儀被 仰付方も可有之
旨弥相嗜可申候且又六人儀、常々学問出精之様可被
聞召処也猶以出精可仕旨

上 地院

真瀬正球

瑞 宗隆

人見正竹

土岐格庵

余語古庵

各六人学問療治情入^精 御感之由其余十八人役儀無情^精及
聞召向後無情於有之^ハ可為曲事旨達之

今朝伊賀守宅^ニ面若^寺、医師惣領廿四人へ被 仰出之

趣申渡

清水亀庵 吉田喜庵 瑞 道由 久志本左京

片山与安 數原宗玄 井上玄快 坂 倉庵

高木延柑 奥 宗印 安倍義貞 慶方院子

同上 笠原義竹 望月忠庵 吉田淨友

竹田法印子 良庵子 廣井宗庵子 伯典子

竹田定安 江藤良悦 渡辺宗以 関本祐傳

立雪子 坂 三庵 友仙子 山本民部丞

伊勢 龜在候 京都 龜在候

此面々へ家業之儀御采目^ニも被 仰出候通常々情出候^{精出}
学問療治等可仕候向後不精成者候はば御詮儀被成成品々

よりて被 仰出様之可有之旨弥相嗜可申候

真瀬正球 瑞宗隆 人見正竹 土岐格庵

坂上地院 余語古庵

此面々へ家業之儀御采目^ニも被 仰出候通常々相嗜可申

候学問^ニ精を出し候様^ニ被 聞召之旨弥精を出し学問

療治等可仕旨

十九日

於殿中御鷹之雲雀二十宛被下面々

酒井修理大夫

土井大炊頭

永井右近大夫

安藤對馬守

水野監物

井上河内守

小笠原山城守

秋元撰津守

土井兵庫頭

松平備前守

増山兵部少輔

板倉隱岐守

右被下之

雲雀式十ツ能登守伊賀守拝領之

一松平對馬守御内書被下^ニ付家来^江時服^ニ被下之

奥 二丸 御成花火 上覽

廿日

御刀 石川美作守 御香 岡部志摩守

尾黄門水少将陪拜 讚岐守掃部頭拜謁 日門拜迎

豫參雅楽頭豊後守美濃守大和守但馬守内膳正

御供 能登守伊賀守民部少輔松平因幡守

兩典厩へ上使^江石川美作守明日御慰之御能被 仰付候間

可有見物旨

御先雅楽頭

紅葉山 御堂^江巳后刻 御参詣

一 此年

大猷院就御遠忌於東叡山赦被行

松平因幡 惣領一人主水

右被 召出

辨原江守末子 平十郎子 榊原八之助 其弟 平十郎次男

采女

右被 召出

閉門 御免 伏見勘七郎預り 渡辺久左衛門

國御免 津戸孫右衛門

官部千勝

兵部少輔孫兵藏子

南部大膳大夫預り

其兄弟女子式人

國御免 御預り 同人

松平石見守家来四郎右衛門子

相馬長門守預り

國御免 同人 小川四郎兵衛

同人次男 小川新五郎

長門守召仕候共 諸星源太左衛門

心次第 村田伊平大家来

土方河内守 諸星源太左衛門

御預被下之^精右衛門与力 關 勘兵衛

若槻市兵衛

松尾権兵衛

山中十郎右衛門

羽田兵左衛門

安西助左衛門

林 三郎右衛門

沼上八郎左衛門

藤田小右衛門

海晏 寺^奥 呑領^{御領}

喜右衛門

治右衛門

神部九兵衛

太郎兵衛

新右衛門

喜兵衛

太郎左衛門

佐左衛門

又右衛門

次郎左衛門

長左衛門

七郎右衛門

各神原右衛門与力江戸 御免

伊奈半十郎 預り 御免

相州大藏町名主 先年御傳馬為 連々相模國中追放 御免

蟹沢村名主 喜右衛門

同 与頭 治右衛門

山口九郎左衛門追放御免 追放

最上松平清兵衛御預 追放

たて岡村名主 御免

織部 淺草御藏小あげの頭 御免

善兵衛

以上九人 江戸御免

江戶御免

元御歩行
野辺権左衛門
同
桜井貞右衛門
元押目付
伊沢清兵衛
元表火之番
松原庄右衛門
御免
以上七人
佐渡嶋流罪
御免

嶋免
銀座之輩
長田三太夫
乳母いま
左手屋
御免

以上五人
大嶋流罪御免
然者御定之因々
追放
いとや
いとや
与四郎
与兵衛
彦左衛門

閨八州京大坂奈良堺伏見東海道筋木曾路筋駿州甲州
尾州紀州水戸
佐渡嶋流罪
御免
大坂
傳兵衛

廿一日
御慰之猿樂被 仰付候^二付

右登 城見物詰衆計出仕
御能組
東方朝 金春 太郎右衛門 (源六) (助右衛門)
頼政 宝生 権七 (清五郎) (八郎右衛門)
忝風 同人 太郎左衛門 (三郎右衛門) 吉右衛門
羅生門 主馬 太郎左衛門 (源右衛門) 忠二郎
七騎落 宝生 権七 (介九郎) (長右衛門) 十兵衛 (吉右衛門)
邯鄲 金春 新之丞 (源六) (又右衛門) 小五郎 (八右衛門)
現在鶴 八左衛門 権七 (太郎右衛門) 孫右衛門 (五郎兵衛) 庄三郎

唐人相模 弥右衛門 水掛聲 権之丞
宗論 長大夫 首引 傳右衛門

三人肩輪 佐左衛門
法皇本院へ初鮭御進献宿次

御座之間
御鷹之雲雀
二十被下之
御菓子
被遣之
式日出座天和守但馬守

廿三日
二九江 渡御 奥御馬被為召
廿四日
巳后刻 紅葉山 御仏殿^江御参詣
讚岐守 掃部頭 御目見
御先立 雅楽頭 御刀 松平内記 御香 酒井老岐守
尾黄門水少将陪拝増上寺拜迎
豫参 雅楽頭豊後守美濃守天和守但馬守内膳正
御供 能登守伊賀守筑後守因幡守

廿五日
新院 御所^江初鮭以宿繼御進献
川口源兵衛
藤堂庄兵衛
堀 八郎右衛門

右此年国廻り^二被差遣候一組帰参今日登 城
御天守番頭河西孫右衛門組中引渡有之^{奥師}
御暇時ふく式
市口伊与

廿六日
出御 御黒書院
御刀 能勢撰津守
参勤御礼 石川主殿頭

御馬一疋 姫路へ 御暇
松平大和守
松平市正
大田原山城守
本多兵部少輔
毛利日向守

御太刀目録 御目見
黄金三十枚 時服二十
御太刀 御目見
各太刀 御目見
目録献上之 御目見

御勝利手
黄金十枚 時服三
羽折 御目見
黄金三枚 御目見
御勝利手
御勝利手
御勝利手

廿七日
無記事
廿八日
御黒書院 出御御兩典尾黄門水少将松平越後守松平加
賀守井伊掃部頭松平右京大夫松平下総守 御目見
畢 白書院 出御諸御礼

式日之御礼如例年
御刀 同部志摩守
参勤御礼 京極右近
安藤帶刀
松平左門
去頃参府 一身田使者
別所長右衛門

御蓋様へ
銀五枚
女中有差
御太刀馬代金
綿百把

右畢^面
御下結五具
御造宮
御禮
御學
御禮

多田院
明王院
高野山

本阿弥三郎兵衛
本阿弥庄兵衛
光温孫養子

光茂
光甫
光務
光春
各進物
前置
一同御目見

九郎右衛門
光的
光由
九郎左衛門
光察

本阿弥一家
吉川帷足
扇子^ヲ以
初^面一同^ニ
御目見
神道者

廿九日
時服式
御暇
上方御用^ニ付御大工

鈴木与次郎
御大工
一身田專修寺使者
別所長右衛門

右被遣候付被下之
北条安房守姫路へ罷越候^ニ付於
坂立寄^ニ付御用被^ニ仰付之
御座間
御目見京大

柳營日記記

寛文七^丁未年
八月

朔日

御黒書院 出御御兩典 御目見
御白書院 出御尾黄門 同中将水少将紀宰相名代水宰相
名代讃岐守掃部頭松平右京大夫松平左兵衛御礼畢
大廣間 出御諸御礼
御刀 松平内記

八朔之為御祝儀御一門歴々国主及御旗本諸士三千石以上太刀目録を以御礼御作法如何
今日

右被^ニ仰付之
夜^ニ入御側之面々へ縮緬晒布被下之
御儀武田總前守
紀伊宰相殿^江
田中大廣守
水戸宰相殿^江

二日
無記事

御側之面々へ被下物如昨日

三日

就御誕生日詰衆諸番頭諸物頭如例年御祝之餅酒被下之

御細工之御香合^{手夏目ヲ}被進
初菱喰被獻進之
女院御所^カ
松平龜千代
紀伊宰相殿使者
安藤帯刀
水戸宰相殿使者
松平左門

右兩人御暇時服五ツツ被下之

時服式羽折 御暇
被下之
設楽源右衛門
鳥山牛之助
御代官

四日

式日寄合有之評定所^江内膳正美濃守出座

初菱喰献上之

丹羽左京大夫
廣幡中納言息女
尾張中將殿

右婚姻^ニ付為道具料千代姫君御方^江白銀二百^〆被進之

五日

禁裏^江初菱喰御進献之
御暇之輩
高野山願字

時服四
同日
同日
右之通被下之
明王院
多田院
奈良惣代^{別當}

六日

御菓子 梨子一籠ツツ
上使藏田主計頭
日光御門主
知恩院御門主
御徒押

右以上使被遣之

御徒目付組頭善右衛門子
藤井善右衛門
御徒目付喜右衛門子
川口喜右衛門
御徒押
高野市郎左衛門
表火番
星野嘉右衛門
瀬戸角左衛門^事
黒野市左衛門^事
又右衛門

右(六人)御步行目付被^ニ仰付候

御徒押
上野武右衛門
添番五郎右衛門子
山田五郎右衛門
三右衛門子
上野平右衛門
紅葉山御番久右衛門子
秋浦金左衛門
御鳥見彦左衛門子
白戸六右衛門

右五人御徒押被^ニ仰付

參勤御礼

阿部伊豫守
松平甲斐守

七日

各箱肴
献之

酒井日向守
朽木伊豫守
三浦志摩守
那須遠江守
土井信濃守

時ふく三十
御暇

永井右近大夫

被下物なし

松平和泉守
土井大炊頭
安藤對馬守
板倉隱岐守
松平備前守
秋元摂津守
西郷若狭守
板倉伊豫守
土屋民部少輔
堀式部少輔

御太刀
銀馬代
時服三
時服四
羽織
同三
同二
羽折
黄金五枚
時服三
羽折

初御礼
西郷采女
織田信濃守
石川八郎左衛門
溝口又十郎

白銀二十枚
白銀十枚
黄金二枚
時服二

御暇
内藤若狭守
水野主膳

御暇

御書院番組中
新庄与惣右衛門

各箱肴

参府御礼
石野八兵衛
渡辺甚五兵衛

初御目見
各太刀目録
或樽代を以
御礼

御書院番之子
三宅弥十郎
林 龜之助
山崎熊之介
天方庄兵衛
小野新兵衛

火之番被 仰付候輩

根岸太郎兵衛
高橋八郎左衛門
鴨田弥兵衛
鈴木權左衛門
小篠平右衛門
山内平左衛門
横沢市十郎
向坂安左衛門
根本善左衛門
市川孫兵衛
田沢惣右衛門
蜂須賀千松

右居城先月廿七日町屋が出火悉く焼失廿八日^ニ至り火鎮^ル

八日

禁裏が八朔之為御祝詞折枝銚子大高壇紙被遣之
浦野市郎左衛門
娘アコチヤ

九日也

御堀普請来年二月が取掛り可申旨松平新太郎松平相模
守老中申渡
一今度下谷浅草新規之水拂之水道堀又舟入被 仰出候
此趣道奉行へ老中申渡
右道奉行 御太鼓後 近藤太郎兵衛 被仰付之

九日

麻布箕田新堀之舩入普請来月二日が可相勤之旨
松平新太郎
松平相模守

右被 仰付之来年二月が可取掛旨
下谷浅草筋新規之水拂之水道堀是又舩入御普請奉行

右之通被 仰付候

法皇本院^江初菱喰御進献之

十日

時服十
白銀五十枚
被下之

御勘定組頭 元御作事方
上方御勘定組頭

右被 仰付候

十一日

初露献上之

松平亀千代

十二日

評定所式日膏合有之大和守但馬守出座

禁裏^江初露

新院女院 初菱喰御進献之

右被下之

二種
一荷

黄金三枚
時服二
羽折

御暇

去年常州谷原新田就御普請

右被下之

紀伊宰相殿^江
武田越前守
水戸宰相殿^江
田中大隅守

細田小兵衛
近山五郎右衛門

定頭

右私曲之由彼近郷百姓共依捧訴状寺社奉行町奉行御勘
土岐十左衛門
彦坂源兵衛

右可遂穿鑿旨被 仰出之

十三日

昨日紀州水戸へ上使被遣為御礼松平左京大夫登城説老

十四日

無記事

二九 渡御

十五日

式日之御礼如例畢^而

御刀 大久保出羽守

御黒書院 出御御面典尾黄門水少将御礼畢^而松平越後守松平加賀守松平謙岐守并伊掃部頭松平右京大夫松平下総守御礼畢^而御白書院 出御諸大名御礼

参勤之御礼

太田備中守

内藤飛騨守

本多山城守

稲葉丹後守

太田式部

御暇之面々

本多兵部少輔

阿部播磨守

矢野美作

西本願寺

下間宮内卿

小林十右衛門

三宅玄蕃

右兩人就御勘定 参府

御座之間

井伊掃部頭

朽木伊豫守

右御奏者番被 仰付候

立花左近将監

右就掃城以使者献之

法皇 本院御所へ初鶴御進覽

二九 渡御筑後守因幡守御供

十六日

日門御願^二付 御切米 式百俵被下之

御付候

右松壽事弘文院^二差添本朝通鑑之御用可相勘旨被

奥山本加兵衛鐘 上覽可被遊旨被 仰出柳生飛騨守へ申渡

十七日

紅葉山御宮

御名代土屋但馬守

十八日

進物番被

仰付候面々

醫師徳富庵子

生野松壽

奥山本加兵衛鐘

仰出柳生飛騨守へ申渡

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

奥山本加兵衛鐘

十九日

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

細田小兵衛

近山五郎右衛門

右新田之儀御穿鑿之内小兵衛五郎右衛門共酒井修理大夫御預^ク

九条殿使者

西本願寺使者

立花左近将監使者

田中大隅守水戸^ノ罷婦^二付 御目見

時服式^ツ 御暇 被下之

新院 女院へ初鶴御進覽

但女院御所へ先日三宅玄蕃罷下候節御目筆之御書被進之 御返書 公方様^江 御目筆之御書被進之

先年長谷寺へ御造営之料餘銀五十三^メ五百目今度小池坊へ被下^二付五味藤九郎へ奉出

廿日

東叡山御堂 御名代板倉内膳正

輦燭三百挺 三種二荷

右以使者献上之

五畿内四国筋国廻り

御座間へ被 召出巡見之趣言上

川口源兵衛

藤堂庄兵衛

堀 八郎右衛門

右掃府^二付登 城

廿一日

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

廿二日

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

廿三日

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

無記事

今日於評定所

右廿式人進物番被 仰付

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

今日於評定所

廿三日

時服二 御暇 丹羽左京大夫 使者

廿四日

增上寺 御仏殿へ御名代久世大和守參詣

溝口源右衛門

川勝孫四郎

堀 主膳

城

松下与兵衛

松下与兵衛

直旨

右高木忠右衛門相加井伊掃部頭前土手少々崩_二付可築

廿五日

御作事方御勘定組頭

平野次郎左衛門跡

右被 仰付

今日江原与右衛門病死

廿六日

無記事

廿七日

山内修理亮遺跡三万石之内

式万七千石

嫡子右近大夫

三千石

二男

大膳

右之通被 仰付之

分部若狭守遺跡式万石

池田修理三男 美子

甚 三郎

廿八日

御黒書院 出御御両典尾黄門水少将 御目見次松平加

賀守松平讃岐守松平右京大夫松平下總守 御目見畢

御白書院 出御諸大名御礼如礼

式日之御礼如礼畢

銀馬代 初御礼

時服四 酒井修理大夫御礼

同斷 御暇

二種 御礼

一本 御礼

銀百枚 御暇

時服五 御暇

東海道巡見

浦々巡見

各 御目見

淀川見分

伴 作平

前田左太郎

伊奈五兵衛

松平主殿頭願_二付京極丹後守箕田上屋敷被下之常盤橋

屋敷浅草屋敷被差上之

建部丹波守

右就病痾願之通隠居被 仰付家督嫡子織部被下之

大沢兵部少輔

右願_二付藤堂大学頭四男七之介養子被 仰付候

京極伊勢守

京極伊勢守

右病氣依之其弟土肥助養子被 仰付

御暇時ふく式

水寄相使者 松平主米

晦日

時服式 御暇

柳原越中守

右被下之

柳當日次記

寛文七丁未年

九月

朔日

御黒書院 出御御両典尾黄門水少将 御目見次松平加

賀守松平讃岐守松平右京大夫松平下總守御礼

御白書院 出御諸大名御礼如礼

式日之御礼如礼

參勤

金馬代

縮百把

黄金三枚

時服二ツ

御座様へ

銀十枚 女中有差

右奥州_江御馬買_ニ被遣_ニ付被下之

累年異国_江武具_ヲ渡_ス此趣去_ル度訴人筑州柳川之土民其

守護立花左近将監_江告之仍_而從 公儀札明被 仰出之其

徒黨人立花長崎之藏本同所須藤七左衛門同休意_{人穿}原左

兵衛長崎町年寄高木作右衛門博多伊藤小左衛門筑州久

留米之者老人京都之者老人對馬之者老人當年異国_江渡

武具鐵五十領鑓百本長刀_并刀脇差十箱鉄炮菓式百

斤コモタ勘左衛門_ト云者大坂_ニ居住し朝鮮国へ十五度_ニ

及々渡海今度右訴人在之_ニ付江戶_江罷下_ル於大津彼者之

僕訴人_ス牧野佐渡守穿鑿之大坂奉行_江勘右衛門_ヲ送り

荷物等於京都改之珊瑚珠人參南蛮菓黄金等在之其

上勘右衛門近年鑓 銃具足院札明然兵其子細不存

之由

二九 渡御

二日

無記事

三日

渡辺筑後守

岡部左近

右越州村上之上使掃府

從女院御所重陽之吳服可被遣之 上使岩付新五左衛門下

向

於評定所式日之寄合在之但馬守内膳正出座

四日

稻葉清右衛門
徳永頼母
市橋三四郎

右中国之國廻り掃府

五日

御黒書院

時服十
箱肴
御暇
湯治掃
御礼
大坂加番掃

銀馬代
御刀筒二
銀馬代
征矢百本
黄金五枚
綿百把
金馬代
三千石分知御礼
綿百把
金五枚
縮百把
黄金三枚
金馬代
時服三
銀馬代
時服三
戸田采女正内藤飛騨守孫御目見之御礼
御太刀
刑部罷出右之御礼

御黒書院
松平兵部太輔
有馬玄蕃頭
稲垣信濃守
山口修理亮
山内右近大夫
山内大膳
若狭守義子
分部甚三郎
丹波守惣領
建部織部
左門惣領
戸田新治郎
伊勢守弟美子
京極土肥之介
土肥之助
御目見御礼水野監物罷出
刑部子
最上右京

大坂在番掃

御太刀目錄
切口五口
御目見
水野周防守忌中
不罷出

越後国村上城榊原熊之助へ引渡掃

渡辺筑後守
岡部右近
稻葉清左衛門
徳永頼母
市橋三四郎

山内修理大夫遺物御刀
備前正經
代金十五枚

分部若狭守遺物御脇差
寒山十得之絵一幅
顔輝筆

廣光
代金十五枚

建部丹波守

右就隠居各献之

今日為重陽之御祝儀御一門歴々諸大名が時服献上之

右當九月日光 御宮 御名代被 仰付之
吉良上野介
内藤飛騨守

右御祭礼^二付可被遣旨被 仰付候
御医師
木下道圓

右日光御門主^江被差添之^江
日光へ被遣旨

御臺様へ重陽之呉服代五万石以上進上之
一 五万石が九万九千石迄 銀三枚ツツ
一 一十万石が十九万石迄 五枚ツツ
一 一二十万石以上 十枚ツツ

右之通進上之
西丸へ渡御
松平監物組

柳沢左太郎 天野長三郎
柴田権兵衛 森川六之助
中根左兵衛 神尾三郎左衛門
八木五郎大夫 荒木十郎右衛門
北条左近 水野八郎右衛門
安藤甚五兵衛 水野源右衛門
長谷川隼人

八日

浪人鐘遣山本加兵衛其子無兵衛大藏^ヲ被為 召於御黒書院鐘 上覽在之父子三人相勸請太刀^ハ大藏也

御下緒献上之^{御目見}
姫路^江 上使北条安房守内藤金左衛門但金左衛門^者大坂在番が直罷越候
松平大和守へ引渡掃

九日

御黒書院 出御御兩典^并家老尾黄門水少将 御目見次
松平謙岐守松平右京大夫松平左兵衛尉御礼畢^并大廣間
出御諸大名御礼如例
御刀 大久保出羽守

為重陽之御祝儀御一門歴々国々領主及御旗本諸士登城於大廣間御礼如例年

白書院溜^三 伏見勘七郎
同所廊下^三 岩船檢校
御次間^三 鞍 鞍打 井岡太郎次郎
東叡山孔子堂大破^二付修復被 仰出弘文院へ達

十日

右国廻り 御目見 御座之間也^{大坂御目付代}
浦廻り
伴 作平

溝口源右衛門
堀 主膳
川勝孫四郎
坂井八郎兵衛

右被 仰付之

丹後宮津
御目付

右被 仰付之

十一日
大久保右京亮 兩組
水野周防守
大坂御番掃
大御番之面々

七日

来^ル十月二日慈眼大師就二十五回忌法事料式百両被遣之
松平大和守へ引渡^{姫路}
銀二十枚
時服三被下之
御暇
松平龜千代家儀
奥 松平民部少輔忌 御免登 城
北条安房守
桜井八右衛門^能

右日光就御祭礼被 仰付候へ共服^二付其代
内藤飛騨守
右被 仰付之 但廿日 御名代無之
酒井日向守

十二日
於評定所式日之寄合在之美濃守大和守出座
日光^五
御暇
吉良上野介
酒井日向守
武田越前守
松平大和守

右姫路城入部^二付御礼使者を以献上之
御臺様へ (卷物五)
御看一箱
御伽羅一木 百式十五笏 千代姫君様へ被遣之

十三日
無記事

十四日
白鴨一
被遣之
右同斯
被遣之
上使御久保出羽守
甲府宰相殿
同 石川英作守
館林宰相殿
今日
紀伊大納言殿

右登 城於 御座之間 御對顔
御目見
松平左京大夫
江村傳兵衛
御暇時ふく式 御暇被下之
松平大和守使者

十五日
御黒書院 出御御面典尾中將水少将御礼次松平讃岐守
松平右京大夫御礼畢 御白書院 出御諸御礼如例
御刀 大久保出羽守
式日御礼如例年畢^面
大阪^有有馬^{御暇被下参府^二付}
参勤

御臺様へ
金馬代
筒乱百
銀五枚
右同斯
金馬代
綿百把
臨坂中務少輔
秋田安房守

銀馬代
時ふく式
金馬代
羅紗十間
銀馬代
熊泥障三懸
時服四
羽折
御暇
松平佐渡守
本多出雲守
松平志摩守
太田撰津守

右志摩守去秋可為参勤処依病氣延引
御太刀金馬代
御臺様へ
羅紗三卷
羅紗五卷
薰一箱
薰物一箱

右御家督相統移徒^二付
二種 御元^{上使之}
一荷 御礼
参勤伺
御暇
参府
時服四
御暇
湯治婦

右奥州国廻り帰府
一同
御目見

右當月之御祈禱之御被献上之
十六日
御暇
白銀五枚
被下之
御自筆之御内書被遣之
被下之

織田信濃守
石川八郎左衛門
溝口又十郎
岩付新五右衛門
駿府加番面々
久野丹波守
中川七右衛門
御暇
時服四
羽折
時服三
被下之

御暇
時服四
羽折
時服三
被下之

十七日
巳刻紅葉山 御宮 御参詣木濟^{本ノマ}
御刀 大久保出羽守
御香 内藤上野介
御先 雅楽頭

尾張殿水少将陪拜 松平讃岐守 御目見 知楽院拜迎
豫参
雅楽頭
豊後守
美濃守
大和守
但馬守
伊賀守
能登守
松平民部少輔

十八日
高宮布百反
一種二荷
井伊掃部頭使者
日下部三郎右衛門

右就帰城以使者献之
時服式 御暇
八条殿使者
生嶋大学頭
松平出羽守使者
大橋茂右衛門

十九日
口切之茶一壺
并露献上之
羅子十卷
二種一荷
松平加賀守使者
奥村因幡
松平對馬守使者
服部傳右衛門

右就帰国以使者献之
時服式 御暇
井伊掃部頭使者
日下部三郎右衛門

廿日
紅葉山 御堂 御名代雅楽頭参拜今日御参詣雨天
付御延引御名代也
吉良上野介酒井日向守 日光掃 御目見
廿一日
半井内匠

右願^二付剃髮表向^方御目見仕度^二付願之通被 仰

付之炬庵子

時服三
被下之 御暇

松平對馬守使者
服部源右衛門

廿二日

今夜稻葉美濃守妻卒去保科肥後守娘

式日大和守但馬守出座

二九 渡御

廿三日

上使永井伊賀守
保科肥後守

右娘死去^二付被遣

與 倉橋内匠義子七郎兵衛千本兵左衛門義子吉兵衛兩人御

次手次第 御目見可被 仰付旨

廿四日

一東 以使僧
一本 御礼 長床坊

右献上之

保科肥後守息女病死^二付 紅葉山 御參詣無之 御名代も無之

御暇時ふく一 八幡 豐藏坊使僧

廿五日

来月二日於日光山慈眼大師廿五回忌御法會^二付為 御

名代畠山下総守被遣之

與 保科肥後守へ 上使板倉内膳正被遣之

廿六日

小笠原右近將監

右於居城所勞大切之由注進在之依之其子遠江守御暇被

下之

今夜尾張中将殿中屋敷へ移徒婚姻廣幡中納言息女京都

於昨日千代姫君之御方^江来着

廿七日

御菓子 柿一箱 御使畠山下總守 御門 主^江

右日光山^江被遣之且又来月二日慈眼大師廿五回忌之燒香

可相勤之旨被 仰出之

去頃女院御所^二御使御暇

(黄金一枚
時服式羽織被下之)

三宅玄蕃^江

廿八日

與 御黒書院 出御御西典尾黃門水少將 御目見次松平越

後守松平加賀守松平右京大夫松平下総守御礼御白書院

出御諸御礼如例

御刀

式日之御礼如例終

御太刀金馬代
縮百把 大高檜紙五束

箱肴 湯治掃

銀馬代
らうそく式箱

御太刀銀馬代
的矢三十本

同

箱肴 參府

一包 御目見

白銀三十枚 御暇

時服三 御目見

勢州鷹場之儀先頃大納言殿^二被何之於他領も如先規鷹

狩可有之由相達御満悦之由

賜物品 御暇

有之

今朝尾張中将殿為婚姻之祝儀

上使

板倉内膳正

中納言殿^江

同 人

千代姫君御方^江

中將殿^江

内膳正

右之外女中^江賜もの

白銀十枚

同十枚

白銀二百枚

御臺様より御使瀧川長門守を以

(時服六
二種一荷
縮緬二十卷
二種一荷
時服十
二種一荷
二種一荷
縮二百枚
二種一荷)

中納言殿^江

千代姫君御方^江

中將殿^江

中將殿御室^江

一 今晚尾張中将殿^江祝儀之為饗應老臣執事ノ被招

之

御暇時ふく式^二ツ

同一充

高野

伊勢

愛宕

同

長床坊使僧

春木大夫

山本大夫

高野

宝龜院

蓮花三味院

春木大夫

山本大夫

長床坊使僧

伊勢

愛宕

同

長床坊使僧

春木大夫

山本大夫

長床坊使僧

伊勢

愛宕

同

長床坊使僧

春木大夫

山本大夫

長床坊使僧

惣女中^江被下之

紀伊宰相殿使者

北村大之進

召吉利支丹之

與 北条安房守保田若狭守御座之間^江被為

御用被 仰付之

與 稻葉清左衛門市橋三四郎徳永頼母被為

召之因廻之様

子御尋被遊

御暇

被下之

時服三

廿九日

御暇

被下之

時服三

廿九日

御暇

被下之

時服三

廿九日

御暇

被下之

時服三

廿九日

御暇

被下之

時服三

廿九日

御暇

被下之

時服三

廿九日

御暇

被下之

時服三

廿九日

柳營日記記

寛文七丁未年

十月

朔日

尾張中將殿婚姻之御禮 付式日之出仕無之

御座之間

尾張中納言殿

尾張中將殿

時服十

御臺様正

綿百把 (日記記は尾張中納言の上に記載)

一荷二種 (日記記は尾張中將の上)

一荷二種 (同じく尾張中將の上)

御前御熨斗鮑頂戴之退出

御目見

松平摂津守

松平出雲守

二九 渡御

無記事

三日

先年被 仰付阿部豊後守領地武州一宮稻葉美濃守領内伊

豆箱根両所権現久世大和守知行武州府中六所明神何れ

も修復出来 付彼家来奉行等時服二羽折一ッ 被下之

豊後守家来

二平勘兵衛

野沢忠兵衛

美濃守家来

丸田四郎左衛門

銀持助兵衛

青木友右衛門

秋森八郎大夫

大和守家来

岩下半左衛門

角田作野右衛門

松平薩摩守在所到着 付使者井上左京禰子廿卷二種

一荷献之

四日

御玄猪之御祝儀御規式如例年

御刀 大久保出羽守

五日

禁裏 初鶴式進献之

右日光ヶ掃府登 城

甲斐庄喜右衛門

神保四郎右衛門

鳥居権之介

右国廻り掃府登 城

六日

於評定所式日之寄合有之美濃守内膳正出座

去四日式日依御玄猪相止候 付

御菓子御折柿一箱

被下之

日光ヶ掃府 付

御目見

昌山下総守

已刻西丸 渡御

大手よりやよすかし外櫻田御廻り 奥 乗馬被仰付之面々

仙石因幡守組

松平監物組

大沢五郎左衛門 榎原七郎左衛門

中根長右衛門 柴田権兵衛

岡部平六郎 角南主馬

水野八郎右衛門 安藤甚五兵衛

山田軍右衛門 朽木市左衛門

細井彦兵衛 水野源右衛門

高林小左衛門 中山勘右衛門

神尾三郎左衛門 長谷川隼人

内藤伊織 松平八郎右衛門

飯田三左衛門 八木五郎大夫

蜂屋七之助 三井十郎兵衛

七日

無記事

八日

九日

右被

仰遣之畢 御茶入 唐物懸 御手自拝領之并

御鷹三鷹捉鷹捉鴨捉御馬一疋被下之退出之後

奥 為御札登 城候御座候間 御對顔

尾張中納言殿

右 御對顔

御目見

松平左京大夫

御黒書院

出御

時服六

羽折

時服四

羽折

同断

同三

羽折ッ

紀伊殿陪臣

渡辺若狭守

原田市十郎

加納平次右衛門

松平九郎左衛門

伊達源左衛門

小笠原長左衛門

宮路久右衛門

磯 伊右衛門

松平佐五之丞

右御目見

参勤伺

末年三月参勤可有之旨被

仰出御礼也

時服二

羽折ッ

御暇

御目見

井上太左衛門

甲斐庄喜右衛門

神保四郎右衛門

鳥居権之助

未刻二九 渡御

十日

時服

二被下之

来三月中可有参勤之旨被 仰遣之

十一日

無記事

箕田麻布筋舟入新堀堀之儀去頃松平新太郎松平相

紀伊宰相殿

使者

小笠原十郎右衛門

丹後宮津

御日付

天野弥五右衛門

北陸道國

井上太左衛門

甲斐庄喜右衛門

神保四郎右衛門

鳥居権之助

紀伊宰相殿使者

小笠原十郎右衛門

丹後宮津

御日付

天野弥五右衛門

北陸道國

井上太左衛門

甲斐庄喜右衛門

神保四郎右衛門

鳥居権之助

樓守兩人へ被 仰付之末年二月取掛然へ右御用諸事
可承旨美濃守へ被 仰付之

一保科肥後守忌明付登 城 御目見

一表火之番小官山源右衛門事猶子幼少之節令旨置之実
子之由支配方申達及累年源右衛門老衰付今度代番之

儀奉願候然へ右偽申上置候儀御後關儀と奉存候間有様申上
候由組頭今井三郎右衛門黒部一郎右衛門迄達之然夫支配

方へ申達之御穿鑿之処養子之種替弟前田八右衛門事新
御番付伴之八右衛門親類男種替之兄と書出之源右

衛門偽露頭之条申上候也数年操公儀其儀可願之
儀有今般申上候段重疊不届付依其科江戸中退却

被 仰付之

十二日 午刻西丸 渡御
式日出座美濃守但馬守

於山里御馬為 召之御番衆へも乘馬 仰付之

本多土佐守 青山丹後守組

松平源助 松崎惣左衛門 阿部傳八郎

津金助之進 榊原左平太 大久保七郎右衛門

松平次郎左衛門 伏屋新助 赤井弥十郎

伊東傳五郎 佐野内藏允 松平助之丞

弓氣多七郎次郎 山田平右衛門 城 市大夫

戸田喜右衛門 朝比奈孫六郎

十三日 美濃守内膳正為見分被罷越

箕田芝麻布筋船入堀被 仰付之雅楽頭豊後守

十四日 無記事

十五日 御黒書院 出御御典尾黄門水少将 御目見次松平越後守松平

加賀守松平謙岐守松平右京大夫松平下総守御礼加賀守鷹場

御暇被下次御白書院 出御諸御礼如何

式日之御礼如何例畢

御刀 箱肴 湯治婦 岡部隠岐守

同 御太刀 御太刀目録 蜂須賀千松

竹之御組重箱二 從駱府 直在所御暇 安部丹後守

時ふく三羽折 御暇 前田右近罷出右御礼 中將殿御内室供奉付

御機嫌伺婚姻相濟候付 御目見 尾張殿陪臣 成瀬隼人正

黄金五枚 時ふく三羽折 水戸殿使者 雨宮源六

時ふく三羽折 御暇 大坂御目付代 宮崎若狭守

御暇被下次御白書院 出御諸御礼如何

式日之御礼如何例畢

御刀 箱肴 湯治婦 岡部隠岐守

同 御太刀 御太刀目録 蜂須賀千松

竹之御組重箱二 從駱府 直在所御暇 安部丹後守

時ふく三羽折 御暇 前田右近罷出右御礼 中將殿御内室供奉付

御機嫌伺婚姻相濟候付 御目見 尾張殿陪臣 成瀬隼人正

黄金五枚 時ふく三羽折 水戸殿使者 雨宮源六

時ふく三羽折 御暇 大坂御目付代 宮崎若狭守

時ふく三羽折 御暇 各一束 大峯婦 桑山主水

時ふく三羽折 御暇 一本 御目見 大 院

時ふく三羽折 御暇 鳥目 初御目見 當山二宿

時ふく三羽折 御暇 溝口信濃守父出雲守於在所所勞大切付御暇被下醫師洪

時ふく三羽折 御暇 江長怡則被遣之 松平加賀守

時ふく三羽折 御暇 右今日鷹場御暇被 仰出之

時ふく三羽折 御暇 右九月御祈禱料上杓伊勢守を以被遣 日光御門跡

時ふく三羽折 御暇 白銀百枚 大峯婦 大覚院

時ふく三羽折 御暇 施業院孫治衛門事京都へ御暇時ふく式羽折被下候 當山二宿

時ふく三羽折 御暇 今度初被下也

時ふく三羽折 御暇 十六日 大御番与頭 戸田備後守組

時ふく三羽折 御暇 野間金左衛門跡 中嶋権左衛門

時ふく三羽折 御暇 右被 仰付之

時ふく三羽折 御暇 御暇 時ふく式 水宰相使者 雨宮源六

時ふく三羽折 御暇 十七日 紅葉山 御宮 御名代板倉内膳正

時ふく三羽折 御暇 右住職被 仰付之 生越 龍 穂 寺

時ふく三羽折 御暇 未刻二丸 渡御 箕田御堀御普請為見分 大和守但馬守相越

時ふく三羽折 御暇 十八日 新御番頭 横田甚右衛門跡 御歩行頭 大久保彦兵衛

時ふく三羽折 御暇 右於 御座之間被 仰付之

時ふく三羽折 御暇 十九日 新御番頭大久保彦兵衛組中御引渡有之 水戸宰相殿

時ふく三羽折 御暇 鷹捉之 御左之間 佐々又兵衛松平新九郎中根宇右衛門被為 召国廻り之 様子聞召次宮崎若狭守被為 召上方之様子被 開召之

右被 仰付之

御暇 時ふく式

水宰相使者 雨宮源六

十七日 紅葉山 御宮 御名代板倉内膳正

生越 龍 穂 寺

右住職被 仰付之

未刻二丸 渡御

箕田御堀御普請為見分 大和守但馬守相越

十八日 新御番頭 横田甚右衛門跡 御歩行頭 大久保彦兵衛

右於 御座之間被 仰付之

十九日 新御番頭大久保彦兵衛組中御引渡有之 水戸宰相殿

鷹捉之 御左之間 佐々又兵衛松平新九郎中根宇右衛門被為 召国廻り之 様子聞召次宮崎若狭守被為 召上方之様子被 開召之

廿日 東叡山 御堂 御名代 土屋但馬守

於殿中囲碁象戲被 仰付午后刻 御黒書院

出御 上覽

松平讚岐守

松平美作守

右依 仰見物之

困碁 本因坊 四目勝 知哲 先

三哲 先 道策 五目勝

象戲 宗桂 角落 三番之内 二番勝

宗与

廿一日 法皇 本院 御鷹之竊御進獻之

重陽之時服献上之御内書被下諸大名之使者^江時服被下之

當山二之宿
国造使者式人

御暇 時ふく式ッ

西丸へ 渡御 乘馬被 仰付之

戸田相模守組

能勢与十郎 小川内藏之丞

山岡三郎兵衛 三木清左衛門

石川太郎右衛門 若林孫右衛門

脇坂甚兵衛 中山佐兵衛

河野權之助 渡辺忠兵衛

菅沼十郎兵衛 三宅弥兵衛

水野傳兵衛 井上助之進

水野傳藏

別所孫兵衛 中山市之丞

石丸猪右衛門

川窪七郎右衛門

田中作兵衛

廿二日

於評定所式日之寄合在之大和守内膳正出座

松平加賀守

右鷹場より献之

今日於評定所頃日御禮^禮之

紀伊大納言殿

近山五郎右衛門

細田五兵衛

被 仰渡之覚

大造成新田御普請被 仰付処布川築留水支百姓及難儀

候段早速不申上候不届被 思召候事

去年築留を切候様被 仰渡候処不申渡當二月迄川筋

普請申付段不届之事

繩手一圓無之処を有之様 申偽儀不届之事

右之通不調法^二付切腹をも雖可被 仰付候得共御勘定無

滞其上此度百姓目安之趣被懸御穿鑿之處私曲無之^二付

細田小兵衛儀^香内藤豊前守^江近山五郎右衛門^香秋田安房守^香

御預^之之旨北条安房守時十左衛門彦坂源兵衛立合右之通

申渡候

但小兵衛五郎右衛門儀十二人扶持ッ可遣之召仕之人數^ハ五人可附属旨也

廿三日

御黒書院

出御

箱着 病後之 御礼

松平伯耆守

松平相模守息伯耆守病後 御目見之御礼申上

参勤御礼

金馬代 紫皮三十枚

加藤出羽守

銀馬代 (スタメン)三間

松平左近将監

裏付上下五具

永井日向守

箱着

堀田備中守

銀馬代

加藤左兵衛

時服十

脇坂中務大輔

羽折

加藤美作守

箱着

永井外記

御目見

同 組中

依所旁登

三枝隠岐守

城不仕

向井八郎兵衛

西国海辺

大沢七之助

順見帰府

内藤十三郎

初御礼

松平主水

御目見

神原采女

同

伊織

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

廿五日

新院御所 女院御所^江御鷹之初齋御進献之

白銀五百枚

鷹司摂政房輔

右勝手不自由^二付被遣之

泉誦寺佛具代余り銀五百枚有之則住寺拝領之

去^ル十八日越後村上城天守櫓六ッ雷火烧失之由注進之

廿六日

右今日江戸發足

御臺様^江御伽羅三木三百三十四匁六分被遣之

廿七日

御鷹之齋

被遣之

廿七日

右為御礼各登城

右於 御座之間被 仰付之

下総国曾我野村^ハ生実村依水輪^論為檢使

右被 仰付之

廿八日

御黒書院 出御御兩典尾中将水少将御礼 次

松平越後守松平讃岐守松平右京大夫松平下總守御礼

畢^畢御白書院 出御諸御礼如例

式日之御禮如例畢

時服六 御暇

羽織 一巻 後住御礼

兩鞍覆 五懸

御鷹之齋 被遣之

御鷹之齋 被遣之

御鷹之齋 被遣之

御鷹之齋 被遣之

御鷹之齋 被遣之

御鷹之齋 被遣之

御鷹之齋 被遣之

御鷹之齋 被遣之

御鷹之齋 被遣之

御鷹之齋 被遣之

御鷹之齋 被遣之

千代姫君御方

本理院御方

高田御方

三枝隠岐守

龍 穩 寺

本多中務少輔

母頃^二付延引

生越

母頃^二付延引

三枝隠岐守

高田御方

本理院御方

千代姫君御方

尾張中納言殿

御向典厩

天野甚左衛門

甲斐庄喜右衛門

神保四郎右衛門

鳥居權之助

落合三郎左衛門

今福權兵衛

北陸道国廻り

上使本多土佐守

御向典厩

板倉英後守

尾張中納言殿

御向典厩

板倉英後守

落合三郎左衛門

今福權兵衛

松平因幡守支那

板倉英後守支那

落合三郎左衛門

今福權兵衛

松平因幡守支那

板倉英後守支那

今日被 仰出候趣

一 此以前々如被 仰出之所々明地ニ家ヲ作出候儀堅ク為御製禁之条明春以檢使可被相改候若新規ニ家を作出候輩於有之者可為曲事

一 奉公人屋敷之内賣買人ニ借候儀弥停止也万ニ借ス輩於有之是又可為曲事

一 自今已後御料私領之百姓寺社領等之地を借家を作り候者於有之ハ可為曲事之事

附所ニ依断之上可受差圖之事

右之通諸番頭諸物頭諸役人ニ執事傳之

頃日水野信濃守母訴狀を老中ニ捧ニ付 昨日出羽守江彼

母御預^ケ被 仰出候趣

訴狀之趣尤ニ雖之為 思召候^者於申上者御取上^ケ可有

之候得共最早被 仰出已後引證文出^シ後^レ之由被

仰渡候得共切ニ依捧訴狀右之通信濃守一諸^ニ御預^ケ

由

廿九日

松平隱岐守

右箕田下屋敷ニ鉄炮之藥藏火入悉炎上

一 去^ル十八於豊前小倉小笠原右近將監病死之由注進七十式歳

一 今日松平主殿頭淺草下屋敷上ケ地板倉内膳正拜領

一 松平上野介本庄屋敷 安藤九郎左衛門与力屋敷^ク依願替

被下之

一 野々山丹後守入道無世卒

柳當日次記

寛文七^丁未年

十一月

朔日

御黒書院出御兩典尾黄門同中将水少将御礼

松平越後守松平謙岐守松平右京大夫松平下総守御礼次

御白書院 出御諸御礼如例

式日之御禮如例畢

御刀 神尾播磨守

参勤

金馬代 綿百把

御臺様へ 銀五枚 女中有差

箱肴 病後御礼

銀馬代 参府 御礼

御州仙臺 御目付掃

御目見

御鷹之齋

以上使被遣之

紀伊重相掃国道中へ御尋奉書

御目見 觀世座之者共

二日

日光御門跡

右掃府ニ付登城於 御座之間 御對顔

住心院 檀那院 僧正

圓覚院 御目見

女院御所御願ニ付南禪寺之近所瀆下光雲院へ寺領式

百石新規御寄附被 仰出之

三日

右上使を以明四日御慰之御能被 仰付候ニ付登

上様大久保出羽守 御向典廐 江

城可有之旨被 仰遣之

松平新太郎 老母 江

例之通御合力被下之

四日

辰后刻大廣間 出御為御慰猿樂

上覽 御刀 本多土佐守

甲鎗 兩宰相殿

右御對顔御能初^而

竹生嶋 金春 權右衛門

忠度 平右衛門 六右衛門

野々宮 宝生 新之丞

土蜘蛛 八左衛門 六右衛門

融 親世 六郎次郎

鉢木 宝生 權七

亂 金春 源七

夷毘沙門

ふあく

連歌盗人

三人かたわ

猿樂三番過御中入於西湖之間

於^ル之間 (■は来へんに并)

高家衆諸衆諸番頭等御饗應有申下刻相濟各

五日

右以国元へ宿次被遣之

紀伊宰相殿

水戸宰相殿 江

六日

於評定所式日之寄合有之但馬守内膳正出座

備中国吉備宮論之裁許被 仰出之

一般權大夫事訴狀無之^而着裝束令相違背御条目之

昨日御能故延引ニ付

昨日御能故延引ニ付

昨日御能故延引ニ付

昨日御能故延引ニ付

昨日御能故延引ニ付

昨日御能故延引ニ付

条可為追放事

- 一 修理事不用地頭之仕置為不届条是又令追放事
- 一 社家中之儀 如先規社家頭分之者万事懸相談可

右之趣地頭戸川土佐守へ老中傳達

七日

御鷹之
 松平大隅守
 松平新八郎
 松平相模守

右以上使御使番拜領之

大坂御鷹奉行
 小林十右衛門
 野間安節
 土岐芳庵
 金春大夫
 同座之役者

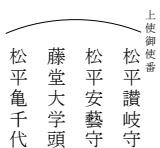
與御座之間 鈴木淡路守被 召出御暇被下之
 岡田豊前守松浦伊右衛門被為 召御用儀被 仰付候

八日

無記事

九日

御鷹之鶴
 以上使被下之
 松平讚岐守
 松平安藝守
 藤堂大學頭
 松平龜千代



一 今日午刻西丸 渡御

乘馬被 仰付面々
 仙石因幡守組
 土屋兵部少組

大沢五郎右衛門 蜂屋七之助
 岡部平六 角南主馬
 高林小左衛門 榊原七郎右衛門
 梶川与三兵衛
 朽木市左衛門
 内藤伊織
 中西源之丞

與 岡野内藏之丞 岡東筋盜賊改被 仰付之

十日

無記事

十一日

角田川邊 御鷹狩被 仰出候得共少々就 御不豫
 御延引

關東おみて在々所々強盜有之 付岡野内藏允可
 札明之旨被 仰付之

十二日

於評定所式日之寄合有之美濃守但馬守
 松平丹後守

右去 頃參勤依之被遣之
 丹後守御祖母之忌 依上使延引

多羅尾久右衛門
 四郎右衛門

右閉門其手代三人伊豆大嶋へ流罪被 仰候手代田地之事 付私曲有之 所久右衛門不札明 付閉門被 仰付候

一本帳之積 ちかへ百姓私 仕候計代付を用候 高辻滅候儀不届之事
 一右檢地帳面之内 田島百姓隱置候分改出申不届不念之事
 一百姓不高之内を隠指出仕候地坪之内猶以不足有之候付手代
 檢地帳 仕上 候得共從 公儀重 御改候得共過分 地敷出候
 儀不届至極之事

右度々御穿鑿之所右三ヶ条之趣久右衛門重豊不念成仕方付
 久右衛門同子四郎右衛門閉門被 仰付其上御預之御代官所被 召上候旨
 一右檢地仕候久右衛門手代服部源五右衛門徳山孫兵衛吉田伊右衛門庄
 屋百姓と一同致檢地私曲仕候間三人共 豆州大嶋へ流罪被 仰付候
 一隠田無之旨言上候庄屋へ所追放可仕候事

十三日

松平丹後守

右重陽之御内書被下時服使者へ被下之

十四日

御鷹之
 松平大膳大夫
 森 内記

右依所旁出仕無之 阿部豊後守

二丸渡御

十五日

御黒書院 出御御兩典尾黄門水少將御札松平越後守次
 松平加賀守鷹場掃雁式献上 御目見松平讚岐守松平右京大夫
 松平下總守御礼畢 御白書院 出御諸御礼如何
 式日之御礼如何畢

御刀 松平紀伊守

馬式 鷹場 掃府

御太刀馬代
 白銀三百枚
 色糸百斤
 御臺様へ銀廿枚 女中有差

御太刀 金馬代 羅紗十間

御太刀 同銀五枚 同

御太刀 銀馬代 時服三

時服五 羽折

箱着 御暇 參府

梅代 初 去頃御鷹之儀 宿次を以被遣之御礼

御太刀 初 水戸宰相殿使者 御暇之趣本服付參府

目録 初 御代官宗左衛門兼子 松平新太郎外戚殿

雨草履三 大坂參府 新太郎未下 但新太郎家來之養子也

御礼卷敷 高林又兵衛 若王寺 勝仙院

右各御礼献上之右何 高林又兵衛

御目見 右衛門綿屋丹阿弥等三人御暇時服被下候

困基象戲之役人等御暇賜物如何之古筆見了宗源

銀十枚 本因坊 三智 宗看

一 今日縁組被 仰付候面々

- 銀十枚 三哲
 - 小袖式 宗柱
 - 銀十枚 門入
 - 小袖式ツツ 道策
 - 智哲
 - 銀十枚 宗与
 - 古筆見
 - 時ふく式ツツ 了栄
 - 源右衛門
 - 丹阿弥
 - 源次郎
- 内藤左京亮娘
 - 岡部備後守江
 - 本多下野守娘
 - 石川若狭守殿へ
 - 木下淡路守娘
 - 遠山信濃守へ
 - 安部丹波守娘
 - 松平久米之助江
 - 永井伊賀守娘
 - 小濱孫三郎へ
 - 小出大隅守娘
 - 大嶋雲四郎江
 - 雲八子
 - 嶋田五郎兵衛八郎兵衛子
 - 坂井権兵衛孫安
 - 関兵部娘
 - 横田巳之介江
 - 二部兵衛子
 - 久永源兵衛娘
 - 山田貞右衛門江
 - 仙石次左衛門娘
 - 宇右衛門子
 - 久世兵右衛門江
 - 宅間伊織娘
 - 渡辺左兵衛江
 - 安藤傳右衛門娘
 - 藤右衛門子
 - 横山伊兵衛江
 - 野々山肥前守娘
 - 助九郎養子
 - 三枝長兵衛江

一 右今日九州国廻り帰府

十六日

右依願隠居領知二千七百石

右被下之伊与守御切米五百俵為隠居料被下之

尾張殿紀伊殿水戸殿陪臣殿中 招之御菓園之菓種

一箱宛被下之

右今朝新宅江移徙

候出来^二付為御札水無瀬宰相^ノ御祈禱之卷数御星坂左

近差上候今日登 城謁但馬守納之則御暇被下時ふく式

十七日

紅葉山 御宮 御名代大和守参拜

十八日

無記事

十九日

右 上使を以被下之

御鷹之鷹二ツ

- 御鷹之 露
- 松平加賀守
- 松平丹後守
- 松平但馬守
- 宗 對馬守

右 上使を以被下之

- 伊達遠江守
- 蜂須賀千松

右 上使を以被下之

右帰国之節於松坂鷹捉之齧^上之

一 京都大佛御修復成就

廿日

紅葉山 御堂 御名代美濃守参拜

廿一日

諸旗本之族凡式百四十余人御番入被

此夜中谷法恩寺之寺家五軒焼失

御小姓組七十六人御書院四十五人驅取

大番七十七人 小十人組式人

廿二日

御鷹之鷹二ツ

上使を以被下之

- 御鷹之
- 松平撰津守
- 松平出雲守
- 松平左京大夫
- 松平刑部大輔
- 松平播磨守
- 佐竹右京大夫
- 松平土佐守
- 松平中務太輔
- 毛利甲斐守
- 松平飛騨守
- 有馬玄蕃頭

今朝於評定所式日之寄合大和守内膳正出座
昨亥刻谷中法恩寺中燒亡
黑田万千代

廿三日
御鷹之馬ニツツ
上使を以被下之

松平右京大夫
本多内記
松平下総守
松平隱岐守
奥平美作守
立花紅雪
尾張中將殿
水戸少將殿
若王子
勝佛院
使僧

右御鷹場 御暇被 仰遣之

廿四日
増上寺 御佛殿御名代 内膳正 参詣

廿五日

右以宿次被遣之
紀伊大納言殿

大徳寺真珠庵酬恩庵
真珠庵酬恩庵公事裁判
一本末之儀今度於大徳寺任集評之旨真珠庵可為本庵
雖然一休大徳寺住持職口宣一休自筆之制法書酬恩庵
所持之上^ハ寺法如先規可相勸之事
一自酬恩庵真珠庵へ預置之宝物^并金子等早速無相違可
返之事
一於酬恩庵每歳十一月十日集評之節真珠庵之僧侶如旧
例可合出席之事
右之通以覺書達之

廿六日

右勝手御不自由^ニ付願之祐拝借金七万兩被 仰遣
尾張殿

右鷹場^ハ使者献上之
添番頭諸物頭^并甚風之時分各宿所^ニ在之無他行火之元可
申付旨今日被 仰出之
土屋相模守式部病死

廿七日

右鷹場^ハ使者献上之
土屋但馬守孫之就服忌出仕無之

廿八日

黒書院 出御御典尾黄門御礼次 松平越後守松平加賀守
松平右京大夫御礼畢^并白書院 出御 諸御礼如例
式日之御礼如例畢
御刀 内藤上野介

箱着 病後
銀馬代 初御礼
銀馬代 各自太刀目録を以
御目見
加々爪甲斐守
土岐右近
牧野半之助
内藤市之助
千本吉兵衛
倉橋七郎兵衛
千村清左衛門
鈴木権十郎
武田泰安

泰安^ヲ道安^ト改其子^ヲ為泰安

樽代を以 御目見
一束を以 御目見
一包を以 御目見
白銀 五十枚 御暇
二種一荷 掃国^ニ付
大納言殿御暇^ニ付
重陽御内書御禮
御暇時ふく三
御鷹之齋拝領御礼
御同人使者
原田弥平次

御暇時ふく三 御目見
野中六右衛門
高岡金左衛門

右寒中御機嫌伺
大坂御目付
柘植平右衛門
桜井庄之助
久保平左衛門
倉橋長右衛門
岡野孫九郎
井戸新右衛門
青山善兵衛
幸若八郎九郎
次郎九郎
権八郎
太右衛門
幸阿弥与兵衛
ひわたや久右衛門

各御目見
御暇時ふく三 御目見
金杖箕田舟入普請之儀今度被 仰出候彼地借屋敷仕立候輩
屋敷御堀へ掛^ニ付立退仍引料替地被下之
鈴木清兵衛屋敷之表是又御堀切^ニ付^ニ代地被下之
小判百兩
同斷
小判廿兩
右織部^ハ屋敷無之故本庄^ニ新規^ニ宅地被下兵吉^ハ拝領屋敷
有之候間引料計被下之与力同心^ハ於本庄替地被下之
一浅草下水堀御普請被 仰付故右之地^ニ立之輩之屋敷之裏御堀
場^ニ碍候付^ニ九尺^ヲ切^リ入^レ之依之銀五十枚^ヲ被下之
銀五十枚 堀江半七郎 銀五枚 田邊宇大夫
同 設楽源右衛門 同 小宮山六郎右衛門
金五兩 御敷寄屋坊主 以上 金三兩^ヲ 同所路次之者 五人

廿九日

御暇時ふく三
御同人使者
上使を以
戸田采女正
大久保加賀守
松平丹波守

御鷹之鷹一ツ
被下之

松平主殿頭
内藤帶刀

牧野飛騨守

岡部内膳正

石川主膳頭

高力左近大夫

本多飛騨守

鳥居兵部少輔

諏訪因幡守

土岐山城守

松平左近將監

土屋但馬守

村上与兵衛

戸田一郎右衛門

尾張中將殿

水戸少將殿

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

十一月廿一日

一今日御小姓組御書院番大御番小十人組御番入被 仰付候

御小姓組江九十三式人

長谷川三左衛門

堀小四郎

山田監物

内藤五郎兵衛

小普請惣兵衛美子

大岡宗兵衛

雨宮忠左衛門正兵衛

土岐藤十郎

土岐藤十郎

坪内源五郎

玉虫又三郎

安倍源左衛門重平

松平彦十郎政興

山本甚五兵衛

岡部新五兵衛

大番美右衛門子

天野甚平

大沢八郎右衛門

松田六之助

美濃部八兵衛

小沢二郎大夫

九鬼權之助

松田兵大夫

奥津久七郎

表木作助

表木作助

表木作助

安藤次右衛門

二宅太兵衛

朝岡宇右衛門

佐藤甚左衛門

山村庄右衛門

永井与五郎

山本平左衛門

山本平左衛門

山本平左衛門

山本平左衛門

山本平左衛門

山本平左衛門

山本平左衛門

山本平左衛門

山本平左衛門

山本平左衛門

山本平左衛門

山本平左衛門

山本平左衛門

山本平左衛門

山本平左衛門

山本平左衛門

山本平左衛門

山本平左衛門

山本平左衛門

山本平左衛門

山本平左衛門

山本平左衛門

山田貞右衛門重政

鶴殿教馬

小濱半左衛門

阿部大膳正弘

大田八郎兵衛某

宮崎助大夫安仲

松下彦兵衛長房

小笠原宇右衛門某

矢嶋三左衛門義光

松浦八兵衛信勝

伏見權七郎為信

中嶋傳左衛門

坪内甚三郎

大番組頭左衛門子

小野源右衛門

山田兵吉

堀田善兵衛

藤堂庄五郎

富永新五郎

安藤傳十郎

藤掛内匠

安藤傳十郎

安藤傳十郎

安藤傳十郎

安藤傳十郎

安藤傳十郎

安藤傳十郎

安藤傳十郎

木村源太郎

芝山小左衛門

天方庄兵衛

佐藤七之助

大番組頭左衛門二男

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

丹羽傳助

庄田小左衛門安利

小川村左近秀郷

大番組頭左衛門二男

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

大澤源一郎

高木甚次郎

村越權三郎

早川十之丞

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

高木甚次郎

右五人御書院番^二入

田中大隅守組
御小姓組出雲子
根来小才次
内藤若狭守組
廣敷番頭七郎右衛門子
鈴木孫四郎
酒井伊与守組
御先手頭九郎左衛門重矩三男
奥内安藤内匠某
武田越前守組
御持弓頭内匠助久盛兼子
倉橋七郎兵衛久朝
三枝隠岐守組
信濃衆平右衛門基寛子
千村清左衛門重賢
松平外記組
小普請弥之助子
原田弥三左衛門
水野周防守組
大番平左衛門兼子
依田友右衛門
小普請彦五郎子
水野源兵衛
新庄与五右衛門組
新院付松路守重泰弟
鈴木権十郎重長

右三人大御番^二入

大御番入御小姓組五人候分御使役之子
御書院番へ入候、驅取之答候へ共御書院方
人少候間五人共、御書院番被、仰付候
土屋兵部少輔
為 上使尾中將鷹場へ
被造掃府
同断水少將鷹場へ婦參
御暇 時ふく式
被下物無之
植村志摩守
水宰相使者
佐野四郎右衛門
尾中持使者
石河全左衛門
水少將使者
佐野内藏介

是、小十人組^二入

於御座間 美濃守大和守但馬守内膳正御鷹之雁式ツッ拝領之
二九 渡御

宝樹院殿御祥月^二付 御名代大和守參拜

三日

時服二 御暇
被下之 時ふく三 御暇
白銀三十枚
美濃守内膳正出座
時ふく二ツ
被下之
應司摂政殿使者
廣庭中務少輔
幸若小八郎
同 三右衛門
五郎右衛門

四日 於評定所式日之寄合有之美濃守内膳正出座

御座之間
馬式ツ拝領
酒井河内守
松平美作守
松平若狭守
尾張中將殿
御鷹之
馬祥領
上使を以御使者
依服忌延引

五日 夜増上寺裏金地院近所少將焼失

奥西ノ后刻舞被 仰付之
信田 八郎九郎 九穴貝 次郎九郎
時ふく式ツ
次郎九郎
太右衛門
權八郎

六日

上使藏田主計頭
日光御門跡
知恩院御門跡
御鷹之雁一ツ
被下
御座之間
土井能登守
永井伊賀守

七日

無記事

八日

御目付
土岐縫殿助
永見新右衛門
右兩人依願御役御免被 仰出之
御御番
新山藤右衛門組
小村金右衛門
喜多見五郎左衛門
城 半左衛門
本郷庄三郎
御金奉行
疋田喜右衛門跡
仰付之
御普請奉行

右御座之間^江被為 召芝新堀御普請之儀被 仰出之

奥 御普請奉行城半左衛門喜多見五郎左衛門本郷庄三郎^江今度
芝新堀之儀御直^二被 仰合之

右拝領之鷹捉鶴献上之

紀伊宰相殿
使者
神谷与次右衛門

十日

右遺跡十五万石其子遠江守^江被 仰付候
小笠原右近將監
跡式被 仰付候面々

新御番頭
甚右衛門風松子
横田傳之助松
御使役
江原源太夫賢全
与右衛門三男
安房守忠次兼子
大久保三太夫清三
寄合太郎七郎次種兼子
安藤頼母 行次
上二同 三太郎豊勝子
御書院武田越前守組
大番戸田備後守組母頭
金左衛門子
瀧川長門守組
書院番長五郎吉次弟兼子
日根野甚五郎直弘
北条右近大夫組小普請
赤井六之介
御小姓組杉平内記組
三之介兼平子
大久保権平
大久保山城守組平右衛門子
北条右近大夫組
七郎右衛門子
大番御舟等組
御書院番内膳若狭守組
市部右衛門子奥兼子
瀧川長門守組
九兵衛孫兼子
本多美作守組小普請
三九郎兼子
原田甚之丞
同部丹波守組
御役御免忠左衛門子
同部丹波守組
西山与兵衛

高千石
内 七百石
三百石

右被 仰付之
御普請奉行
城 半左衛門
本郷庄三郎

大番中根日向守組
甚之介
加藤甚兵衛 十四
三宅傳左衛門組小十人組頭
半右衛門兼子
門奈長五郎 十七
御代官
四郎左衛門兼子
高室四郎兵衛 十八
北条右近大夫小普請
善四郎兼子
守屋助次郎 十六
御代官
權兵衛子
設楽甚太郎 十九
御馬屋方
孫左衛門子
石井喜平次 廿
北条右近大夫組
助右衛門子
猪俣金助 廿一
興
奥津兵左衛門組小十人
伊右衛門子
石原市次郎 廿二

右之通於菊之間老中演達之

御馬屋側如父時々被 仰付
八王子島屋側
竹本与兵衛 廿三ノ上
上同清水権之助組
長兵衛子
比留兵右衛門 廿三ノ下
進物取次番頭
久兵衛子
村野半之丞 廿四
二丸添番
久兵衛子
高橋七郎兵衛 廿五
富士見番深尾八大夫組
八兵衛子
森川五郎右衛門 廿六
門入子
碁打門入 廿七
表御台所
市郎左衛門子
坂田三之助 廿八
上同
清右衛門子
池永庄之介 廿九
正惣子
木屋庄兵衛 三十
御數寄屋坊主
道作子
盛作 三十一
御數伊賀衆清右衛門子
進物番取次同心
弥太夫子
下野一郎右衛門 三十
庄大夫子
奥明屋數番伊賀衆
庄大夫子
奥井
町野五郎八 三十三
上同
三郎右衛門兼子
高井伊左衛門 三十四
依病氣延引
酒井左衛門尉

右今日以上使御鷹之鷹式被下之

高田御方 本理院御方 千代姫君へ八代蜜柑一箱ッ被遣之

十一日

雁式
奥酒井修理大夫
阿部伊豫守
松平甲斐守
水野監物
井上河内守
太田備中守
堀田備中守
朽木伊豫守
永井日向守
内藤飛騨守
増山兵部少輔
三浦志摩守
加々爪甲斐守
西国廻り
星野孫九郎
井戸新右衛門
青山善兵衛
高林又兵衛
向井八郎兵衛
石川助左衛門
喜庵
右被 仰付候
閑齋跡
表坊主組頭
舞被 仰付候
由利若 八郎九郎
蓬萊山 次郎九郎
權八郎
右今日常盤橋屋敷江移徒済
十二日
於評定所式日之寄合大和守但馬守出座也
御鷹之雁 四品ニ付式被下候
二拝領之
酒井修理大夫

十三日

如恒例御煤拂相済 雅楽頭勤之
小笠原山城守御鷹之鷹拝領之一昨日之延也

十四日

御黒書院
出御
御刀 内藤上野介
箱肴
參勤御礼
土井大炊頭
阿部播磨守
神谷与次右衛門
右拝領之御鷹之鷹献上之
右少将殿鷹場江 上使御鷹被遣之御礼
松原右衛門
松平越前守
右寒氣伺御機嫌
箱肴
右御鷹之鷹拝領之御礼以使者献上之
御代官
雨宮権左衛門
松平清兵衛
石丸石見守
鈴木九左衛門
永田孫次郎
青山百助
浅井権九郎
佐久間市左衛門 三
蜂屋源太左衛門 六
朝倉万右衛門 十一
朝岡織部

一

從京都參府

御太刀目録
献上之
箱肴
黄金五枚
時服二羽折
參府
御暇
八幡造管修復
奉行掃府
御目見
初御御礼
藤右衛門子
大久保山城守組
權九郎子
松平健殿頭組
五郎兵衛子
石川美作守
新十郎子
本多土佐守組
本多土佐守
三十四郎子
上同人
朝岡織部

十

松平健殿頭組 八郎右衛門子 四
瀧川八助 八郎右衛門子 四
大久保出羽守組 大久保左衛門子 七
嶋田兵助 本多土佐守組 八左衛門子 九
榊原八之丞 大森主膳正組 榊七郎子 十
堀田千徳 土屋兵部少輔組 助十郎子 十
玉虫五郎左衛門 大岡忠四郎組 甚左衛門子 十三
岡部市之丞 青山藤右衛門組 榊之助子 十九
下山甚五兵衛 服部半兵衛 七郎左衛門子 十五
坂部喜賀之助 松平監物組 三之助子 二
丸毛百助 御具足奉行 十左衛門子 十七
宮重十助 大久保彦兵衛組 大久之丞子 三十七
日下市郎左衛門 富士見番頭 源藏子 十六
内藤源兵衛 大岡忠四郎組 仁右衛門子 三十八
尾崎九十郎 能勢市十郎組 茂兵衛子 十八
中山熊之助 上同組 新右衛門子 十四
河内太郎八 松平内記組 市左衛門子 欠
設楽熊之助 御納戸組頭 喜三郎子 欠
富永平助 庄左衛門子 御納戸庄左衛門子 三十八
柳瀬庄右衛門 半助子 廿
鈴木勘十郎 所右衛門子 十一
多門五郎作 所右衛門子 廿三
竹川兵十郎 次右衛門子 廿三
山本甚太郎 八郎右衛門子 廿四
太田三之丞 新五左衛門子 廿五
大岡新九郎 新五左衛門子 廿六

十五日
式日之御礼如例年畢 而
御刀 神尾播磨守
御黒書院 出御御兩典并兩家老 御目見次尾中将水少将
鷹場掃御礼鷹之雁献上之
御白書院出御諸御礼如例
箱肴 參勤 病後
同 歳暮之 吳服披造之
御太刀目録 薰物
右大佛造宮成就之御礼 一本 初御礼
花毛氈十枚 御太刀目録 參府
小刀五本 箱肴 參上
右御目見
隱居家督被 仰付面々
四千三百石 (大森主膳正組 大森主膳正殿 嫡子)
五千石 弟藏殿御七郎右衛門子 付阿兵衛子 又甥養子
但權六郎御切米三百俵為隱居料權右衛門被下候 六百八拾俵 三枝權守組 嫡子
内五百俵 同 權七郎

十六日
右御暇付各時服式被下之
二九 渡御
御暇時ふく式 紀宰相殿使者 富田文大夫 使者神谷七次右衛門
御暇時ふく三 紀伊宰相殿 使者 紀伊宰相殿 使者 水戸宰相殿 使者 眞野兵衛
御暇時ふく三 御暇時ふく三 御暇時ふく三 御暇時ふく三 御暇時ふく三 御暇時ふく三 御暇時ふく三 御暇時ふく三
右御暇今日 御免 小十人頭 三宅傳左衛門
御刀 石川美作守 御者 松平紀伊守 御先 阿部豊後守
尾中将 水少将陪從 松平謙岐守 御目見 日門拜迎
豫參 豊後守 美濃守 大和守 内膳正
御供 土井能登守 永井伊賀守 松平民部少輔 松平因幡守
右依願寺社奉行奏者番御役御免
今度日光山配當日録調三付御右筆 御右筆 小嶋久左衛門
黄金一枚 時服式被下之 御登殿 御暇 使者 松平越前守
時ふく式被下候 時ふく式被下候 時ふく式被下候 時ふく式被下候 時ふく式被下候 時ふく式被下候 時ふく式被下候 時ふく式被下候
十九日
保科肥後守

源五左衛門子 廿七
戸張十兵衛 廿七
加藤左之助 三十一
小長谷六之助 三十一
富永彦三郎 三十三
上田傳九郎 廿八
遠山十郎左衛門 廿九
宮野左之助 三十
朝比奈藤十郎 三十四
原 救馬 卅五
宋文御納戸原伊兵衛 孫養子
分知 百八拾俵
同 左兵衛
但御切米三百俵隱居料小右衛門被下候 依田平左衛門
五百俵 水野權守組 養子
同 友右衛門

右今日登 城

廿日

辰后刻 紅葉山御堂 御參詣 還御以後

御向典厩

右參詣有之

未刻二丸渡御

御刀 松平内記 御香 酒井老岐守 御先 雅樂頭

尾中将 水少将陪從 日門御出迎 松平謙岐守 御目見

豫參 雅樂頭 豊後守 美濃守 大和守 但馬守 内膳正

御供 土井能登守 永井伊賀守 松平民部少輔 松平因幡守

廿一日

巳刻隅田川辺 為御鷹狩 出御於 御殿御膳被 召上

申后刻還 靈岸嶋迄御舟被為 召今日御物数五十四内

御奉 白馬六

脇鷹 霧四 馬五 白鷺二十 真鴨式

小鴨十三 鷺志

御供 永井伊賀守 板倉筑後守 松平因幡守

為伺御機嫌国主領主ノ使者差上之

白銀五枚被下 御暇 女院御所 御使 鈴木三左衛門

時服式被下候 二諦坊 遠州 八幡岡御井坊

時服 御暇 使僧 三嶋曆師

同 同 左近

日光御門主

右登山 付醫師久志本内蔵助被差添之

去 十八日駿河安西町火事家数五十八軒焼失之旨注進之

歳暮之時服献上有之

御供鷹 小鴨一 加藤傳十郎 分鷹 真鷹一 馬十二 間宮左衛門

白鷹一 真鷹一 小栗長左衛門

馬三 清水權之助 小鴨一 小栗半左衛門

御跡 馬一 戸田七之助 鴨式 惣御物数五十四

小鴨一 加藤傳十郎

廿二日

於評定所式日之寄合有之美濃守大和守出座

上使を以て大久保出羽守

甲館両宰相殿

上使若山丹後守

尾張中納言殿

為御禮所勞 付中将殿登 城

右昨日御鷹狩 御奉之馬一ツツ被遣之

高田御方 本理院御方 千代姫君御方

右同断被遣之 御鷹之馬一 上使を以て本多土佐守

被遣之 頼付息市正御礼登 城 保科肥後守

今日於評定所本國寺僧之訴裁許之趣被 仰出候趣

覺 一 京都本國寺上人 寺僧申分之儀遂穿鑿之処寺僧

申候諸事上人へ不相伺之役者中相談申付来之由雖

申之槌成證據無之候上人出候證文槌ニ相聞候間上人

理運被 仰付候事上人縦若輩之時役者中相計候共

今受不可及其儀処寺法之旨申掠理不尽之裁許等

申付之義非礼之至曲事候依之小十人之内役者 瑞雲

院大扇坊大輪坊三人 袈裟衣脱却之上五幾内追

放被 仰付事 一 圓教院法光院一樹院正源院大乘坊本覚院本行

院七人 不裁召状之処參府仕候玄乘坊天量坊

三人以上十人 山城撰津兩國追放被 仰付候事

以上 十二月廿二日

廿三日

昨日當年初 御鷹狩 付賜物

時服三 羽折 同 二 羽折一ツツ

伊奈半十郎 小栗長右衛門 間宮左衛門

清水權之助 加藤伊織 戸田七之助

白銀廿枚ツツ

白銀十枚

白銀五枚ツツ

小野吉兵衛 加藤牛之助

佐山覚左衛門

真野助右衛門

沢 太兵衛

沢 仁兵衛

落合五右衛門

三橋次右衛門

加藤權右衛門

瀧 傳兵衛

石渡源兵衛

木母寺

今度屋敷拝領之面々各

寄合之家 松平五郎八

池田庄右衛門

真田勘解由

本多忠右衛門

松平織部

千本十郎左衛門

松平内蔵介

大久保彦兵衛

飯屋敷替上 屋敷 第兵九郎 拜領

内藤新五郎

阿部大膳

阿部左京

牟礼清左衛門

瀧川三九郎

中山勘之丞

久野伊兵衛

八木庄左衛門

細井喜三郎

川野三左衛門

川口七郎左衛門

竹田藤右衛門

日向惣左衛門

右馬頭殿城代

金田遠江守

松平讚岐守娘

有馬玄蕃頭江

右今日婚姻被 仰付候

酒井故備後守子

酒井勝之助

右可被 召出旨修理大夫被 仰渡之

位階被 仰付候面々

小笠原遠江守

戸田采女正

大久保加賀守

内藤帯刀

松平若狭守

諸大夫被 仰付候面々

分部甚三郎

改集人正

西尾右京

改隠岐守

小出勘兵衛

改信濃守

京極右京

改主膳正

建部織部

改丹波守

嶋田久太郎

改出雲守

雨宮権左衛門九

改對馬守

土岐兵部

改伊豫守

米津内藏允

改周防守

太田左京

改伯耆守

一 布衣被仰付候面々

渡辺半三郎

九人

倉橋内匠三

大岡弥右衛門七

天野孫右衛門九

天野甚左衛門八

千本兵左衛門五

駒井次郎右衛門六

甲斐庄喜右衛門四

新庄宮内一

道三

酒井雅楽頭

阿部豊後守

稲葉美濃守

久世大和守

土屋但馬守

板倉内膳正

土井能登守

永井信濃守

板倉筑後守

松平民部少輔

松平因幡守

御傳御小姓御小納戸二至三時服拝領如例年

道三一そけん御赦免被 仰付候

府中御馬買被遣罷歸候 付黒沢全助秋山六左衛門時ふく式二被下

松平因幡守乗物御免

廿九日

御兩典尾中将水少将歳暮登 城

為歳暮之御祝義御一門方及詰衆登 城如例年

松平季之助

改石見守

天野権之助

改丹波守

權平養子

改丹波守

改丹波守

右両人今日諸大夫被 仰付候

奥 屠蘇白散道三持参

時服三ツ 伊賀守 筑後守 因幡守 能登守 民部少輔

同 三ツ 内藤式部 大森信濃守 奥四人番頭衆

同 式ツツ 御小姓衆 御小納戸衆へ被下

名取半左衛門 小出修理亮卒

右奉書演達之

御側衆へ如例年御小袖被下候

記録書写之坊主九人如例年御金被下候但清喜正悦兩人へ入精二付被増下候

廿七日分 於評定所申渡

一 下総国椿村関口作左衛門御代官所 内藤甚藏知行御領私領之庄屋を庄左衛門と申者一人二而 相動候處庄左衛門私曲有之由同村之百姓訴人を出し候可遂穿鑿旨從甚藏方作左衛門三申断候重而去月廿日二庄左衛門重科相究候間死罪可仕旨作左衛門方江甚藏二申断候然共其返答不承届候旨廿一日二死罪仕儀不届三候事

一 庄左衛門儀借金出入付而近郷二日安差上候間去月廿五日二罷出可致對開從評定衆目安裏判遣候処其假甚藏承なから評定所へ断無之死罪申付候儀不届候事

一 庄左衛門儀大分之八木取込仕らせ訴人之者申候付而庄左衛門俵三郎右衛門と引合對開申付候処慥成証據無之旨申つめ候儀不成候其上近来甚藏方より庄左衛門二金子などの儀相願敷通之書状遣し候文書之養子不作法候事

右之旨趣段々不届二付 甚藏事へ御改易被 仰付候条江戸近辺居住仕間敷者也